

第22回市民との意見交換会・報告書（謹教地区）

開催地区：謹教地区	開催日時：令和元年5月7日（火） 18時30分 ～ 20時00分
担当班：第4班（出席議員）石田典男、松崎 新、中島好路、古川雄一、原田俊広	（欠席議員）なし
開催場所：謹教コミュニティセンター	
参加人数：男性9名、女性0名、合計9名（うち班外議員0名）（他自治体等傍聴者0名）	
<p>1. 議会報告、市政全般についての総括 議会報告は、意見交換の時間を考え短時間で行うこととし、実行できた。多くの方からの意見が聞くことができるように配慮した運営に努めた。不登校の問題、町内会の運営について次回以降も深めていただきたい。</p> <p>2. 地区別テーマでの意見交換についての総括</p> <p>(1) 地区別テーマ 「謹教地区における子育て支援について」</p> <p>(2) テーマ設定の理由、背景 未来を担う若者や子どもたちへの支援について当事者や経験者、地域の方々の声を聴き政策に反映させたい。</p> <p>(3) 主な地域課題 町内会長の任務がハードになってきている。多くの町内会長からの声として後継者がいないと出されており、町内の後継者をどのようにするのかという問題がある。また、謹教地区では、地区社会福祉協議会をどのようにするのか協議されているところであり、町内会の役員の仕事が増える中でさらに地区社会福祉協議会を立ち上げ運営できるのか。また、謹教小学校のコミュニティスクールについても地区に相談が来ている。町内会会長、地域全体の運営と役員それぞれの任務について、整理していくことが課題である。</p>	

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般(テーマ以外)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	分類	番号	備考	※項目 キーワード
新庁舎の建設についての場所は、現在の庁舎の場所 所で決定なのか。	総務委員会協議会、議員全員協議会で説明を受けたことについて報告したい。まず現在の場所に庁舎を建設することを決定したのは菅家市長時代。その後どのように新庁舎を建設するのか、市民意見、庁舎検討懇談会で意見要望について検討されてきた経緯にある。また、第7次総合計画で庁舎建設の方向性が出され、議会は総合計画の議案を議決してきたところである。そのため、現在の場所に建設する方向で進められている。また、別の場所に新庁舎を建設することについては、新庁舎建設の候補地を新たな議案として議会で議決することで変更することができる。	○	①		行政
4月1日現在、市の人口は12万人を割った。人口増加に向けての課題、問題をどのように考えているのか。会津若松市の若者は、高校卒業後、就職、進学で地元に残る人より出る人の方が多い。若者の就職先の確保については、行政の政策判断を誤らないように行い、若者の地元定着に向けて取り組んでいただきたい。	市が取組を進めたICTオフィスビル整備の目的は、新たな雇用の創出である。地元の若者、会津大学生の受け皿としての新規採用、首都圏からの移転者およびその家族が会津若松市で生活することで定住人口を増やす取組である。企業との懇談会では、「家族で移住するためには、子どもの教育、進学、文化、自然環境、医療機関などの課題、問題を理解し整備する必要がある」との意見が寄せられていると聞いている。	○	①		行政 雇用
市内の高卒者が就職できる場の確保が必要である。	ご意見を受け止める。	○	②		雇用
お願いがあります。連休になると観光客に対し旧学鳳高校の校庭を駐車場として開放している。問題は、校庭が土のためタイヤに付着した土や砂が、校庭の西口から国道118号に付着し、場所によっては道路の端に塊となって集まり、周辺では土埃が起きている。町内で掃除をしているが、市の対応をお願いしたい。	担当課に伝え対応をするように話をする。	○	③	後日調査し、事後報告する。 (事後処理報告書P14に記載)	公共施設 観光

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般(テーマ以外)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	分類	番号	備考	※項目 キーワード
市の観光地周辺の駐車場を開放している。このことは良いことだが、観光で来ていただいた方に対する駐車場解放の情報が少ないと思う。	臨時駐車場の場所については、市のホームページや市政だよりで周知している。観光客の方についての情報は、SNSなどで配信している。今年旧県立病院跡地を臨時駐車場にした。また、会津大学の駐車場を開放して現地から神明通り経由で鶴ヶ城までのシャトルバスを運行した。さらに警備員を配置するなど体制を整え準備してきたところである。	○	①		観光
市の観光に対する駐車場対策は、よくやっていると実感している。ほかの観光地で駐車場が近隣になくあっても狭い、また、目的地から遠い場所の駐車場をよく見受ける。それに比べ、鶴ヶ城は駐車場が多く、今年も観光で来たお客様に駐車場が多いので良かったとほめていただいた。	ご意見ありがとうございます。	○	②		観光
町内会長の任務がハードになってきている。多くの町内会長からの声として後継者がいないと出されており、町内の後継者をどのようにするのかという問題がある。また、謹教地区では、地区社会福祉協議会をどのようにするのか協議されているところであり、町内会の役員の仕事が増える中でさらに地区社会福祉協議会を立ち上げ運営できるのか。また、謹教小学校のコミュニティスクールについても地区に相談が来ている。町内会会長、地域全体の運営と役員それぞれの任務について、整理していくことが課題である。	議会は、市のまちづくりについて総務委員会や一般質問で取り上げ質疑している。市全体、地域、町内会の役割分担が求められている中で、市からの上から目線による市民協働を行わないよう、議会で質疑している。新たな地区社会福祉協議会結成についても、市の担当部署、社会福祉協議会と地域の方々が話し合い、進めるべきであると考えている。	○	①		地域社会
地区社会福祉協議会については、町内会長に運営を投げられたらできない、どのように考えればよいか。	ご意見を受け止める。	○	②		地域社会

○ 議会報告(定例会、政策討論会など)、市政全般(テーマ以外)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	分類	番号	備考	※項目 キーワード
地区社会福祉協議会については、町内会長全員が役員として運営に携わるのではなく、役員として入るのは複数の方だけである。他の各種団体などから入る方もいる。	ご意見ありがとうございます。	○	②		地域社会
民生委員・児童委員のなり手がいない、町内会長が見つけて下さいと言われるが見つからない。謹教地区の区割りがどのようになっているのかわからない。今のままだと民生委員・児童委員を受けの人がいない。謹教地区の複数の町内会で一人ではなく、町内会に一人の選出だとわかりやすく頼みやすい。	民生委員・児童委員の定員数が決まっているので全ての町内会からの選出にはならない。	○	①		地域社会
民生委員・児童委員の定数は、市内全体の定員、そして地区の定員が決められている。謹教地区の定数は22名。謹教地区の町内会は、60町内会のため町内に一人の人選ができない。また、謹教地区は、南北に細長い区域なので、一部隣接する地区、例えば行仁地区町内会の方が謹教地区の町内会の範囲で民生委員・児童委員の担当として活動していただいている。	ご意見ありがとうございます。	○	②		地域社会
市民との意見交換会、テーマを絞るべきでないか。意見の要望をどのように取り上げているのか。	5班編成で行っており、内容については、広報公聴委員会で決めている。また、地区別テーマについては、各班で協議しその後、担当地区の方々と協議し決めている。	●	①		意見交換会

○ 地区別テーマでの意見交換について → 「謹教地区における子育て支援」について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
	謹教地区小学校役員の方との事前打ち合わせで、子育て支援について現在の認識を伺ったところ、以下のような意見があった。			
	中心部の謹教地区でも児童数が減ってきている。今年は謹教小が31名の入学、日新小は51名と聞いている。新入生が31人だと2クラスになるが、今年の新入児童の確定が遅れ、先生の手配が取れない等の理由から、1年生は今年1年間1クラス編成で進むことになった。全校生徒数については、4年前は約340名、今年約230名になった。その結果PTA会費の値上げをしないと運営できなくなり、値上げを実施した。			
	・子どもの遊び場、学ぶ場について			
	公園が少なく、南花畑団地ぐらいであり、外で遊ばせることができない。親が総合運動公園まで連れていく。			
	若松3中は、荒れる学校ではないが、不登校の子どもが多くなってきている。その対応に学校、保護者共に悩んでいる。			
	不登校の生徒ですが、一人ひとり学校に登校しない理由は違う。また、不登校が始まった時期が小学校からの子ども、中学校からの子どもがいる。			
	不登校については、学校だけでなく地域全体で関わるが必要になってきている。			

○ 地区別テーマでの意見交換について → 「謹教地区における子育て支援」について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
	・子どもの成長に合わせた支援について			
	福島市は学童クラブ、音楽活動を行っている。会津若松市のこどもクラブでも行っていただきたい。宿題、オセロ、遊びになっている。最低限の人数で指導していただいている現状だが予算をつけてほしい。			
	若松3中では生徒たちが、運動部、文化部共に部活動に本気で取り組んでいる。休みの日も部活動で過ごしている。			
	少子化の問題であるが、若松3中の子どもの数が少なくなってきた。そのためクラスの数が増えることで担任の先生の数も減り、部活動を担当する専門の指導者がいない。部活動の種目数も減り活動ができなくなってくる。			
	例えば、バスケのように男女で活動することになれば先生が二人で担当することとなる。今の先生の数でできるのか。今後生徒数が減れば、部活動をする先生が男女別に担当できなくなってしまう。			
	部活動の指導者、指導のあり方について何らかの方法がないか。検討していただきたい。			
	・地域別の子育てについて			

○ 地区別テーマでの意見交換について → 「謹教地区における子育て支援」について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
	小学校の運動会は、地区との合同運動会で開催し成立している。運営の手伝いをしていただける人材の問題を抱えている。			
	日新地区と謹教地区は同じような生活、歴史環境にあるので小学校から中学校に入学してもギャップはないようだ。			
	謹教地区では、毎週土曜日に地区の方がスポーツ、レクリエーションを開催し子どもを見ている。			
	・地域で育てる子どもの環境について			
	中心部は人口減少で空き家が増えそのままになっている。土地が高く再開発されにくい。若者は、土地が高いので新たに土地を購入し家を建てるのが困難となってきている。			
	あまり環境が変わらないと思う。子どもの数が少なくなっている。もう少し小・中学校で柔軟に行っていただければ良いのではないか。例えば、学区を超えて入学してもよいのではないか。そのために特徴ある教育環境を作れば入学するのではないか。			
	個人主義になっているのではないか、これは時代の流れか。親の環境が良くなると子どもの環境がよくなる。			

○ 地区別テーマでの意見交換について → 「謹教地区における子育て支援」について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
	<p>議会は、4月22日謹教地区の小学校役員の方から子育て支援の上記4つの項目について意見を伺った。子育て支援について議会が取り組むに当たり、謹教地区の皆様方からも課題や問題について教えていただきたい。</p>			
<p>謹教小学校の1年生のクラス編成について、新入生31名で1クラスである。来年度は、31名の児童がいれば2クラスになるのか。</p>	<p>クラス編成について、文部科学省は、基準を小・中学校1クラス40名としている。また、福島県は、独自の基準として小学校1、2年と中学校1年は、30人以下学級、小学校3年～6年と中学校2、3年は、35人以下学級としている。質問の謹教小学校現在の1年生が2年生に進級する際、児童数が31人いたときは2クラスになる。今年度2クラスにならないのは、各学校の学年数の編成時期の直前に謹教小学校の新入児童が31名と確定したが、その後、クラスを受け持つ教員の確保ができなかったため1クラスとなった。現在、福島県では、教員確保について課題、問題を抱えており、他の市町村でも謹教小学校の事例のように、クラス編成ができないところが出てきている。要因としてあるのは、正職員でない講師の確保ができないと報告されている。</p>	○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 「謹教地区における子育て支援」について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
<p>小学校高学年になると課題、問題が増えてくると感じる。例えば不登校の問題についても高学年になるに従い増え、その数も他の学校に比べ謹教小学校は多いと感じている。不登校についての対策、対応について「困った」だけでは解決しない。児童には、学校やこどもクラブなど集団の中で生活、勉強していただきたい。昼夜逆転した生活を送る子どもがいるので、保護者や先生は悩んでいるとお聞きしている。また、運動会について、地域住民の方々、謹教スポーツクラブの応援があり、運動会の最後には会津磐梯山を踊って終わっている。児童と保護者そして地域の方々の交流があり、良いものだと感じている。</p>		○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 「謹教地区における子育て支援」について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
<p>謹教小学校や若松3中の不登校の児童・生徒に対しては、民生委員・児童委員が不登校の児童・生徒や保護者への対応をすべきである。地区社会福祉協議会ができれば不登校についても相談ができるので利用すればよいと考える。</p>	<p>不登校ではないが、一人親の方の困りごとについての事例報告として、一箕地区の取組を紹介します。若い方の生活状況はさまざまありますが、働き、子どもと生活する中で、市政だよりなど情報誌を読むこともできない生活をする方もいる。そうした方の中に福祉の制度からこぼれてしまう方がいるのではないかと。困りごと相談について民生児童委員に相談すべきとの意見ですが、民生児童委員の方が一箕地区のどこに住んでいるのか分からないので相談ができませんでしたと報告されている。結果として、困りごとについて中学3年生の生徒が、一箕中学校の先生に相談し、家庭が生活困窮していること、給食費の滞納があること、高校進学について家庭で相談できない悩みを打ち明けてくれた。その後学校は、民生児童委員、市の担当部局など関係者と連携し、当事者を福祉の制度につなげることができた。</p>	○	①	
<p>謹教地区では、子どものあいさつ運動を実施し、年2、3回校舎玄関前であいさつ運動をしている。そこに民生委員・児童委員の方も出て子どもたちと接してきている。不登校の児童、生徒については、家庭、学校、友達など一人ひとり問題を抱えている。</p>		○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 「謹教地区における子育て支援」について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
<p>不登校の問題については、学校や先生が悩んでいるだけでは解決しない。不登校の課題を抱えてきた児童、生徒の中には、友達との関係が深くなったことにより登校することができたという事例もあると聞いている。こうした事例を参考に、学校はもっと子どもの中に入るべきである。</p>		○	②	
<p>不登校指導と生活指導を比較すると、不登校の児童、生徒の解決と勉強を教えることは10倍くらいの違いがあり難しい事例であると実感している。不登校の児童、生徒への関わり方は、知識が豊富でないと対応できない。例えば、聞き手と話し手の関係で「秘密にするから話して」とようやく話してくれた内容が、クラスや学校内等に広まることになれば、当事者である子どもへの影響は、悪い方に変化する。この事例では、聞き手の方が秘密を守りますと約束し、ケース会議で関係者に報告したところ、会議の参加者である第三者が当事者と秘密とした内容を関係者以外に話してしまい、クラスや学校に広まってしまった。結果、信頼して打ち明けた聞き手と話し手の信頼関係が崩れた。こうした事例から、カウンセリングなどの知識がないと不登校の解消に向けたアドバイスはできないと考える。また、報道や専門書の中には、不登校の児童、生徒になる要因の一つに、家庭での父親の単身赴任との関係について指摘している事例がある。</p>		○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → 「謹教地区における子育て支援」について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
民生委員・児童委員の中には、不登校の児童、生徒に関わることのできる方もいると聞いている。一方で、学校の先生でも関わることのできる人とできない人がいると思う。		○	②	
不登校の家庭訪問について、居なかった、会えなかったですんなり帰ってきてしまうのか。相談ができる環境づくりをする必要がある。あらゆる手段を使い面談する必要があるので方法を考えてほしい。なぜ不登校になっているのか分析しているのか、その分析結果を知りたい。		○	②	
今年から私の町内会は、子ども会が無くなった。		○	②	
以前の町内は、人口が少ないが、子どもは多くいた。だいぶ前に子ども会、老人会が無くなった。		○	②	
学校通学路の見守りについて、7時から7時40分の間、現在1名で横断歩道の見守りを行っている。止まってくれない車がいる中でどれだけボランティアでできるのか、事故の責任、けがの問題。ボランティアと学校との関係。		○	②	
学校登校の時間が早くなり教職員の出勤時間が早くなった。		○	②	

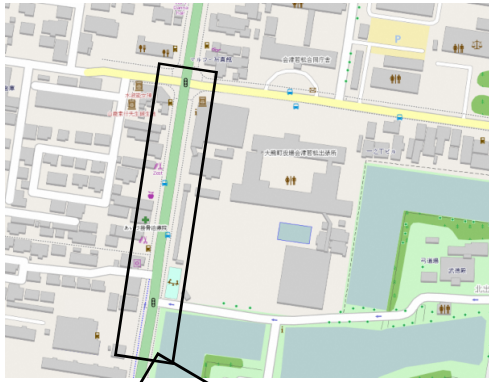
○ 地区別テーマでの意見交換について → 「謹教地区における子育て支援」について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	分類	番号	備考
側溝と通学路の関係、蓋をかけてほしいが予算の関係でできないのか。設置していないので学校に危険予告の看板を設置していただいている。		○	②	
子どもが屋内で遊ぶ場所がないと言われている。		○	②	

市民との意見交換会・事後処理報告書

謹教地区

件名	処理（対応）内容	備考
<p>1. 国道118号の清掃について (P 2)</p>	<p>【市民からの要望・質問】 旧学鳳高校の校庭を駐車場として開放している。問題は、校庭が土のためタイヤに付着した土や砂が、校庭の西口から国道118号に付着し、場所によっては道路の端に塊となって集まり、周辺では土埃が起きている。町内で掃除をしているが、市の対応をお願いしたい。</p> <p>【事後処理結果】 5月17日、担当課である総務部総務課に確認。 「今年1年間の駐車場運営について期日が決定している。意見として出された国道118号の清掃については、対応してまいります。」との回答であった。</p>	 <p>国道118号 旧学鳳高校西側</p> <p>出典 オープンストリートマップ</p>